

豊かで充実した老後を
漁業者年金
ひとりばり方のため、方人はひとりのために

漁

12月号 No. 398
一部 10円
発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

「碧い海とたすけあい、漁村の良さを組織の知恵とパワーで」

第二回全国漁業協同組合大会を開催

水協法施行四十周年記念・第三回全国漁協大会が去る十一月十七日、東京・渋谷公会堂で開催、全国から漁協関係者など約二千人が結集した。

全国漁協大会は三年に一度開催されるもので、向こう三年間の漁協系統全体の運動方針・政策課題への取り組みなど基本方向を決定する、いわば漁協系統最大のイベント。今年は水協法施行四十周年に当たり、この記念イベントも兼ねての大会だけに今までにない盛り上がりを見せた。

大会は、まず池尻文二全漁連会長が次のように挨拶した。「今後、その経営構造はコトのわが国漁業展開の基本方向については次のように理解している。その第一は、わが国は、競争を基調として拡大発展し、今日、世界第一の漁業国の地位を保っている。しかし、魚という高品質の商品を生産性高く供給するということ、いわゆる資源に対する過度な圧力という問題を抱えている。第二に、今わが国は、飽食の時代が続いている。このため従来のように、第一に、海は今や好むと好まざるにかかわらず漁業生産の場だけではない、国民による多面的利用のニーズの場となりつつある。従って、漁業を営みながら、海の先達として海の持つ魅力的な資産価値をいかに国民に提供すべきか、そしてこれをどのように地域につなげていくかを考えなければならぬ。これらのことは漁業が今や従来の拡大・増大の基調ばかりでなく、国民生活とのかかわりなどを含めて、全体として調整・管理を必要とする時代になったと認識しなければならぬ」ということである。

兵庫漁業経営指導協会 創立総会を開催

去る十一月一日、兵庫県立水産会館において、兵庫漁業経営指導協会(以下、協会)の創立総会が開かれた。出席者は、協会の発起人として、兵庫漁業経営指導協会の創立総会が開かれた。出席者は、協会の発起人として、兵庫漁業経営指導協会の創立総会が開かれた。出席者は、協会の発起人として、兵庫漁業経営指導協会の創立総会が開かれた。

去る十一月一日、兵庫県立水産会館において、兵庫漁業経営指導協会(以下、協会)の創立総会が開かれた。出席者は、協会の発起人として、兵庫漁業経営指導協会の創立総会が開かれた。出席者は、協会の発起人として、兵庫漁業経営指導協会の創立総会が開かれた。



挨拶する酒部設立発起人代表



第三回全国漁業協同組合大会

管理を必要とする時代になったと認識しなければならぬ」ということである。これらの課題への取り組みに当たって、今後組織の真価が問われる時代はない。このため我々漁協系統組織は、真に組合員の

林崎漁協が水産庁長官賞受賞

今大会の表彰は水協法施行四十周年記念の功労者・永年勤続表彰と漁協大会ごとにおこなわれる優良漁協表彰の両方をおこなわれた。功労者・永年勤続表彰では特別功労者として池尻全漁連会長をはじめとして五人に農林水産大臣賞が、功労者として十八人に水産庁長官賞が贈られ、また全国の漁協系統関係者

豊かなむらづくり表彰 農林水産大臣賞受賞 沼島漁業協同組合

去る十一月六日、京都府・近畿農政局において、「豊かなむらづくり全国表彰」が行われ、沼島漁業協同組合が栄えある農林水産大臣賞を受賞した。

この表彰事業は、むらづくりの全国的な展開を助長し、地域ぐるみの連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村地域の健全な発展を推進するもので、昭和五十四年より実施されている。



沼島漁協は、島の基

三か年の運動方針を決議

信願される漁協組織を築こうとする漁協の人的資源を有効に活用し、漁協の活性化を図ろうとする。第一回全国漁協大会運動方針案報告の後、「第三回全国漁協大会運動方針」が提案された。続いて、「漁業振興対策に関する特別決議」が提案され、あわせて満場一致で採択された。



3回全国漁業協同組合大会

全国的な漁協組織を築こうとする漁協の人的資源を有効に活用し、漁協の活性化を図ろうとする。第一回全国漁協大会運動方針案報告の後、「第三回全国漁協大会運動方針」が提案された。続いて、「漁業振興対策に関する特別決議」が提案され、あわせて満場一致で採択された。

水試ノート

本年の播磨灘の漁場環境変化について

本年の播磨灘の環境に大きな影響を与えたのは、①昭和六十三年末から平成元年一二月頃にかけての大型珪藻コシノアユカスガの発生、②五月のギムノディニウム赤潮の発生、③高水温期の赤潮の非発生、④九月に襲った記録的な降水、であらう。これらの原因から冬季及び夏季には高い透明度を示し、さらに十月には著しく低い塩分及び透明度となった。十一月下旬現時点において、例年九月下旬頃から発生し、栄養塩類を大量に吸収し、養殖ノリの色落ち現象として水産業に大きな影響を与えている。大型珪藻は出現していない。しかし発生に適當な栄養塩類の状態になっているので、年内の大量発生は無からうが年明けてからの発生が懸念される。ここでは過去一年間の播磨灘の水質環境の概況を述べる。

①水温は二月から五月にかけて高かったが、六月からは逆に若干低めに推移した。しかし例年九月下旬頃か、急速な水温上昇が見られる。これは男性的降水(月により多雨、少雨の差が激しい)であったためと考えられる。

②透明度は十一月から二月にかけて高目、三月から五月にかけては平年並に推移した。これは低水温期における大型珪藻の発生が大きいと関係しているものと考えられる。六月から八月にかけては高目(明石で月間降水量三三・五mm)のため極端に低下した。しかし現時点ではほぼ平年値に回復している。昭和六十三年から六十二年にかけて降水量は少なく塩分も三・二%台を示したが、六十二年及び平成元年は降水量は多かつた。にもかかわらず塩分は低く推移しており、殊に濃度の年間を通じて平年値を下回っている。これは海排の排出効果によるものと見られる。これは男性的降水(月により多雨、少雨の差が激しい)であったためと考えられる。

③プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

④栄養塩濃度は全般に低く推移しており、殊に濃度の年間を通じて平年値を下回っている。これは海排の排出効果によるものと見られる。これは男性的降水(月により多雨、少雨の差が激しい)であったためと考えられる。

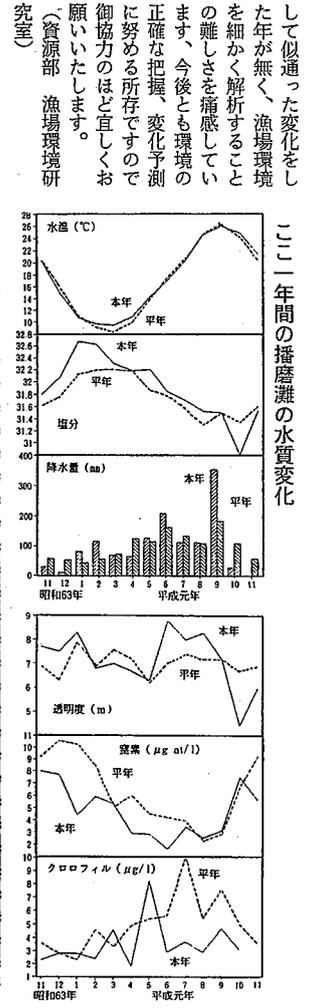
⑤プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

⑥プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

⑦プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

⑧プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

⑨プランクトン発生量は五月のギムノディニウムを除いて全般に少なかった。この赤潮現象を示したギムノディニウムは緑色の強い着色現象を示した(赤潮ではなく緑潮と云った方がピッタリ)。このプランクトンのような広範囲にわたる発生は瀬戸内海では知られていない。当水産試験場における永年に渡る海洋観測結果を見ても、一年と比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

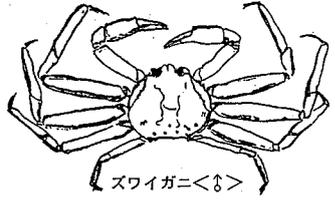


但馬魚便り

(ズワイガニ)

冬は但馬の味覚の代り落とされました。一匹四万六千円の浜魚! ということで多量の新聞、テレビを賑わしました。但馬五漁協から沖合底曳船八十二隻、小型底曳船七隻の計八十九隻が操業している。昨年(続)に比べて七隻も減りました。本年も、資源保護のため昨年(続)にミズガニの漁獲数(箱数)の制限と漁期の短縮が図られます。即ちオスガニは十一月六日(三月)十日、メスガニは十一月六日(一月)二十日(十一月)短縮、ミズガニは十二月二十日(三月)二十日(始期を五日遅く)と今シーズンの漁業規制(富山県から島根県の一府六県)が決まりました。このようない動きもあってか初冬は、山陰地方の一般的な呼び名で特に大型であるオスガニをこう呼び、甲幅九cm以下の個体は捕獲禁止となっており、一方メスガニは甲幅八cm内外と雄

ズワイガニは寒海性で日本海では対馬海峡以北、太平洋側では銚子沖以北、更にペーリング海、北米沿岸にも広く棲息分布しています。我が国の重要漁場は石川県以南ですが、本県の底曳船が、京都府丹後半島沖から島根県浜田沖の二五〇〜三五〇m深のところで漁



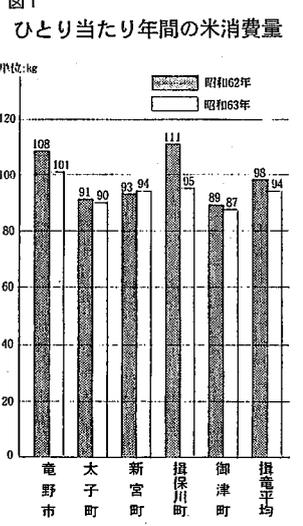
ズワイガニは寒海性で日本海では対馬海峡以北、太平洋側では銚子沖以北、更にペーリング海、北米沿岸にも広く棲息分布しています。我が国の重要漁場は石川県以南ですが、本県の底曳船が、京都府丹後半島沖から島根県浜田沖の二五〇〜三五〇m深のところで漁

生活改善通信

農家一人百キロの米消費

揖電地区

揖電地区生活改善実行グループ連絡協議会では、昭和六十二年及び六十三年度にわたって米の消費調査を行いました。それは、米の消費拡大が叫ばれる中で、農家の米離れが進んでいる、の声を幾度か耳にしたからです。いったい私達は、ひとりあたり一年間にどれだけの米を食べているのでしょうか。



消費総量の増加・減少農家数 (昭和62年と63年を比較)

増えた	減った	かわらない
152戸 (32.6%)	116戸 (25.0%)	197戸 (42.4%)

調査時期: 昭和62~63年
調査対象: 揖電地区生活改善実行グループ員 465名

公のテレホン情報

いつも新しい情報を用意しています。ご利用下さい。

TEL 078 942-1534

また、兵庫のり研究所、県水試駐在所では次の情報も提供していますので併せてご利用下さい。

- 兵庫のり漁場環境速報
- のり養殖情報
- のり研情報



11月5日放送 赤イカ最盛期小春日の竹野浜

城崎郡竹野町

今年の秋は、冷え込 時期海の幸で特筆すべ みが遅く、紅葉の方は いますが、ほのかに漂 うきんもくせい香り、 はじけた栗の味、秋 の産物は例年どおり、 をウキウキさせてくれ ます。

兵庫県城崎郡竹野町 は、人口約六千四百人 の小さな町。一部海に 面し、大半は山。栗の 秋、いろいろな山海の 幸で賑わいます。この

の船に同乗させてもら いました。このイカは、 夏、対馬暖流の入りて 北上し、日本海へ入る 秋から冬、強い季節風 で日本海沿岸に寄って くるのですが、今年 は潮流のかけんか、磯の 方に多く、従って漁場 が近場に集中する為、 い漁場を確保する競争 率も激しく、港を出る のは夜中の二時半頃で す。仕掛けの樽を流す のは夜が明けてから、 ひたすら朝日待ちま す。これがこの時期、 ほとんど毎日、しかも たった一人孤独感を柔



らかなるを育てると、病 害虫にも強く、安心し て食べてもらえ、おい しい米ができます」と 米作りのポイントを話 してました。

兵庫JCC通信

今、農協・生協では

農業協同組合
信頼と安心の
おいしさ

「新兵庫米」味わう

兵庫県内の農協と行 政が協力して今年から 「信頼と安心のおいし いお米・新兵庫米」の 生産に取り組んでいま す。この新兵庫米は、 堆肥を十分施すなど徹 底した土づくりから始 め、有機質肥料を使い 極力農薬の散布を減ら して栽培された米です。

今年産の新米が既に 食卓に届けられています。十一月七日に消 費者や流通関係者を招

十一月二日、第二十 二回兵庫県生協大会を 兵庫県民会館九階ホー ルで開催しました。

この後、記念講演と して石弘之さん(朝日 新聞編集委員)による 「いま地球がたいへん だ」が行われました。

大阪湾西部・紀伊水 道北部)十一月十三日 の調査結果によると、 大阪湾の表層水温は二

小型底曳網(明石海 峡周辺を主漁場とする 小型底曳網(ちん漕) では、マガコ、メイタ ガレノ、ウマツラハギ アナゴなどが主に漁獲 されている。マガコは

大阪湾での シラス漁は、秋期漁の 当初、昨年並みの漁獲 があったものの、十一 月にはいって、から 漁獲はかなり少ないと 思われる。

冬風げり 海見つ、紅茶 濃く入る、 朝寒むや 積荷のハゲの ググと啼く

魚食の効果は今さら 喋々するまでもあるま しい。

専務。 たまには由良の太刀 魚も召し上げ。 そして、いつまでも 深刺り、県下漁民のた め、頑張り続けていたど き。希。

漁海況情報

平成元年十一月 兵庫県立水産試験場

海況 (明石海峡周辺) 旬平 均水温は上旬二〇・九

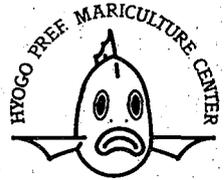
日(十一月一日)に実施 した調査の結果による と、表層水温は二・

魚蔵(うおわた)を 洗う師走の潮ぬくし

多忙な日毎の専務で あれば、もう長いこと 膝を交えて、蕪蓄ある お説を拝聴したことも ないが、新聞を見るま

魚食の効果は今さら 喋々するまでもあるま しい。

専務。 たまには由良の太刀 魚も召し上げ。 そして、いつまでも 深刺り、県下漁民のた め、頑張り続けていたど き。希。



栽培漁業センターです (19)

十一月も半ばとなっ たが、九月中旬並とい われる気温の影響を受 けて海水温の方もなかな かな下がらない。平年 だと十一月中旬には十 七度台となっていたが、ま だ二十度前後を行って

一人百句

師 走



口と呼ばれる穴から放 出するはずなのだが、 雄はよく反応するが雌 が全く駄目。メイタガ レイは水槽の中に雌雄 の親魚をいれ自然産卵 させるのだが、雌の腹 はパンパンに張ってき たが雄の 方に元氣 が無いの 方が無いの 採卵がうまく行かない。 アワビの産卵適水温 は十八・二十度。こ の水温になれば、干出 したり紫外線を照射し た海水の中にいれたり あるいは極薄の過酸化 水素水を入れたりとい うた産卵誘発の刺激を与 えば雌は青緑色をし 肝心なん た卵を、雄は白い精子 を目撃の上にある呼水 はどうに

アワビ 浮遊幼生